

委員会のうごき

経済建設常任委員会

12月15日、陳情2件の審査と、所管の事務調査を行った。

(大山振興課)

香取に直売所計画

大山恵みの里公社の事業は順調に推移し、新年度の売り上げは3億円に達する見込み。

新年度には、農産加工施設(建設地未定)、22年度には、香取に物産販売機能を持った開拓史料館「かとり村(仮称)」を整

指して準備されている。昨年、ホープタウン(米子市)に設置された大山恵みの里コーナーに置かれる農産物の評判が良く、現在は、早くも県内外のスーパーで大山恵みの里コーナーが設けられている。

その他にも、コーナー設置を求めるスーパーがあるが、商品の供給がで

きずに断っている状態で、老若を問わない新規就農者の確保、営農指導の強化が必要になっている。

(農林水産課)

農業指導

農業経験のない定年退職者等を対象にした農業教室が21年春の開講を目

(水道課)

料金統一に向け

旧大山町の簡易水道を完全に町営化する取り組みが進められている。

平成21年度から、旧町ごとに異なる上下水道料金を統一するため、地元

(建設課)

道路整備

20年度一般会計補正予



梨棚が撤去される前の廃園

算では、町道上坪名和神社線の前倒しなど、3400万円が追加された。委員会として、景気対策を意識した予算確保と工事の円滑な発注を求めた。

(農業委員会)

耕作放棄地

国の事業「耕作放棄地全体調査」を8月から実施し、現在取りまとめ中である。

国営土地改良事業で造成し、主に梨団地として利用されていた持倉団地について、梨価格の低迷、後継者不足等で大部分が廃園となっていたが、梨棚等の撤去も終了し、今後は白ねぎ栽培・飼料生産に活用されることになった。

引き続き、補助事業等の活用もしながら、対策が進められる。



「かとり村」は香取分校校舎の一部を移築し、整備